

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 11 月 8 日 (2007.11.8)

【公表番号】特表 2007-526795 (P2007-526795A)
 【公表日】平成 19 年 9 月 20 日 (2007.9.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-036
 【出願番号】特願 2006-541524 (P2006-541524)
 【国際特許分類】

A 6 3 B 23/025 (2006.01)

A 6 3 B 71/08 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 23/025

A 6 3 B 71/08 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 21 日 (2007.9.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

首固定装具をヘルメットと共に用いた時に、前記ヘルメットの動きを前記ヘルメットの下側と接触することで制限する、少なくとも 1 つの上向き衝撃表面と；

前記固定装具の装着者の体の上で支持するように形成された少なくとも 1 つの表面と；

前記上向き衝撃表面と前記装着者の体の上で支持する前記表面との間に延びる構造体とを含み、

前記構造体は前記衝撃表面への前記ヘルメットの衝撃負荷を前記装着者の体に伝えるために十分に柔軟である、

首固定装具

【請求項 2】

前記構造体は堅い (rigid)、請求項 1 に記載の首固定装具。

【請求項 3】

前記構造体の後部位置において前記構造体から前記装着者の背中を下方方向に延びるコラムを含む、請求項 1 に記載の首固定装具。

【請求項 4】

前記固定装具に加えられる衝撃負荷を、前記装着者の背中の脊柱の各側部に伝えるためのコラムの垂直縁部に沿った緩衝部とを備える、請求項 3 に記載の首固定装具。

【請求項 5】

前記構造体から垂直方向に延びるバーと、前記バーよりも幅広で前記バーに固定され、そこからその各側部から横方向に突き出ているプレートとを含み、前記緩衝部は前記プレートによって担持されている、請求項 4 に記載の首固定装具。

【請求項 6】

前記構造体から後ろ方向に突き出ている上部延長部と；

前記上部延長部の後部から上方方向に延びる壁であって、前記衝撃表面は前記壁によって画されており、前記壁は前記ヘルメットの後端の下側に接触して前記ヘルメットが前記後方向に傾くのを制限するように構成されている、

請求項 1 に記載の首固定装具。

【請求項 7】

前記壁は、平面図で湾曲しており、前記固定装具の後部を横断し且つ前記固定装具の各側部に沿って延びており、前記固定装具の前記後部を横切って延びる前記壁の部分は実質的に同じ高さを有し、且つ前記固定装具の各側部における前記壁の前記部分は前記固定装具を横断して延びる前記壁の前記部分から離れるに従って高さが減少する、

請求項 6 に記載の首固定装具。

【請求項 8】

前記壁は前記後部方向に傾斜しており、前記衝撃表面に上方向に向けた傾斜方向を与えて、前記ヘルメットが傾斜すること及び前記後部分が突き出ることを妨げる、請求項 7 に記載の首固定装具。

【請求項 9】

前記構造体からの前方延長部と下方延長部を含み、それらは前記装着者の胸の上で支持するように構成された下面部を画する、請求項 1 に記載の首固定装具。

【請求項 10】

前記延長部の前記下面上に緩衝部を含む、請求項 9 に記載の首固定装具。

【請求項 11】

前記上向き衝撃表面の 1 つを画する前方延長部を含む、請求項 1 に記載の首固定装具。

【請求項 12】

前記構造体は前記装着者の首の周りに延びることが可能なリングの形状である、請求項 1 に記載の首固定装具。

【請求項 13】

前記リングは U 形状の前部セクションと U 形状と後部セクションを含み、これらを留めるように構成された少なくとも 1 つの解放可能なラッチ手段を有する、請求項 12 に記載の首固定装具。

【請求項 14】

前記リングは前記上向き衝撃表面と前記装着者の体の上で支持するように構成された前記表面との間に延びる壁を含む、請求項 12 に記載の首固定装具。

【請求項 15】

前記壁は中空であり、尚且つ半径方向に外側の皮(skin)及び半径方向に内側の皮(skin)によって囲まれている、請求項 14 に記載の首固定装具。

【請求項 16】

前記壁が少なくとも 1 つの破壊ゾーンを含む、請求項 14 に記載の首固定装具。